

産業消防常任委員会会議記録

日 時 令和3年1月8日（金曜日）

午後 1時30分 開議

場 所 水戸市議会 第4委員会室

午後 2時14分 散会

付託事件

(1) 所管事務調査

1 本日の会議に付した事件

(1) 報告事項

① 弘道館開館180年記念 第125回水戸の梅まつりについて (観光課)

(2) その他

2 出席委員（7名）

委員長	大津亮一君	副委員長	森正慶君
委員	田口文明君	委員	黒木勇君
委員	渡辺政明君	委員	栗原文隆君
委員	安藏栄君		

3 欠席委員（なし）

4 委員外議員出席者（1名）

議長 内藤丈男君

5 説明のため出席した者の職、氏名

産業経済部長	鈴木吉昭君	産業経済部参	川崎幹男君
産業経済部参事兼商工課長	長谷川昌人君	産業経済部技監兼農政課長	深澤和広君
観光課長	小林一仁君	農業環境整備課長	三村隆君
農産振興課長	後藤俊之君	公設地方卸売市場長	武田和馬君
消防長	小泉直紀君	消防次長	大内康弘君
消防本部参事	小林光宏君	消防本部参事兼救急課長	石田宏一君
北消防署長	勝村俊則君	南消防署長	青木剛君
消防総務課長	箕輪重美君	火災予防課長	櫻井祐一君
消防救助課長	植木和弘君		

農業委員会 横山英雄君
事務局 長

農業委員会 吉川正浩君
事務局 次長

6 事務局職員出席者

書記 大内しおり君

書記 島田祐輔君

午後 1時30分 開議

○**大津委員長** 明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

定足数に達しておりますので、ただいまから、産業消防委員会を開会いたします。

それでは、これより議事に入ります。

初めに、報告事項の説明を行います。

弘道館開館180年記念 第125回水戸の梅まつりについて、執行部より説明願います。

小林観光課長。

○**小林観光課長** 冒頭の貴重なお時間を頂戴いたしまして、報告案件に入ります前に、2021年水戸の梅大使を紹介させていただきたいと存じます。よろしく願いします。

[水戸の梅大使入室]

○**小林観光課長** それでは、一同、礼。

2021年水戸の梅大使を自己紹介にて御紹介させていただきます。お手元には、2021年水戸の梅大使7名の名簿がございますので、御参照いただければと思います。

なお、今回の梅大使につきましては、昨年からの継続となっておりますので、よろしく願いします。

それでは、自己紹介のほうをお願いします。

○**金澤水戸の梅大使** 私たちは2021年水戸の梅大使です。

私は、金澤紀香と申します。

○**海野水戸の梅大使** 海野早椰香と申します。

○**佐藤水戸の梅大使** 佐藤夏帆と申します。

○**幡水戸の梅大使** 幡和奏と申します。

○**池田水戸の梅大使** 池田実鈴と申します。

○**米田水戸の梅大使** 米田吏伽と申します。

○**根本水戸の梅大使** 根本真美と申します。

○**水戸の梅大使** どうぞよろしく願いいたします。

○**小林観光課長** 以上で、2021年水戸の梅大使の紹介を終わります。

皆様、1年間御指導のほど、どうぞよろしく願いいたします。一同、礼。

○**水戸の梅大使** よろしく願いいたします。

○**小林観光課長** それでは、梅大使は回れ右をしてください。一同、礼。

○**水戸の梅大使** よろしく願いいたします。

○**小林観光課長** それでは、梅大使は正面を向ってください。

では、退室してください。

[水戸の梅大使退室]

○**小林観光課長** では、報告のほうに移らせていただきます。

弘道館開館180年記念 第125回水戸の梅まつりについて、観光課提出の資料により御説明をいたします。

第125回を迎える水戸の梅まつりにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大が続く中ではございますが、コロナに関する国や県の動向等を注視するとともに、現時点におきましては、開催可能な状況にあることを前提に感染予防対策をしっかりと講じた上で、弘道館開館180年記念を冠として開催をしてみたいと考えております。

4の期間でございます。2月13日土曜日から3月21日日曜日までの37日間にわたりまして開催をしてみたいです。

6の行事につきましては、梅まつり期間中の土曜日、日曜日を中心に、みとちゃんお誕生会を皮切りとしまして、2月末の観梅着物Day、大撮影会と写真コンテストのほか、梅の見頃が予想される3月には、弘道館におきまして夜・梅・祭2021を2週にわたって開催するなど、様々なイベントを開催をしてみたいです。

恐れ入りますが、ページを返していただきまして、2ページを御覧願います。

協賛行事といたしましては、市内の回遊促進策として今月23日土曜日から3月31日水曜日までの期間、中心市街地をメイン会場に、参加者が謎を解きながらチェックポイントを巡る体験型イベントを実施する予定でございます。

8のその他の行事といたしましては、梅まつり期間中、いばらき観光誘客推進事業の水戸の梅まつりチームラボ 偕楽園 光の祭として、デジタルアートイベントが開催されます。夜の偕楽園公園内を光のアートで幻想的な空間とし、誘客を図るものでございまして、開場時間は18時から20時30分、最終入場は20時までとなっております。入場料は、大人1,500円、中高生800円、小学生以下は無料となっております。今月中旬からチケットを販売するということがござっております。

このほか弘道館でのイベントといたしまして、正門のライトアップのほか、八卦堂、孔子廟の特別公開などが行われる予定でございます。

続きまして、9のボランティア・おもてなしにつきましては、歴史アドバイザー水戸による無料観光案内をはじめ、水戸黄門愛好会による案内や写真撮影などのほか、手荷物預かりなどを行う梅の駅の設置、さらには、3ページにまいりまして、水戸の梅大使によるおもてなしを行ってまいります。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、例年実施していた市内の中学生ボランティアのチーム魁によるパンフレットの配布及び園内の案内など、学生ボランティアの活動は中止としてございます。

続きまして、10の広報につきましては、例年同様、チラシ、ポスター、パンフレット等の配布のほか、ホームページやSNSの活用などにより積極的に周知活動を行ってまいります。

なお、お手元には梅まつりの周知用パンフレットを配付しておりますので、後ほど御参照いただければと思います。

次に、11の今回の見どころ、変更点等でございます。見どころの主なものといたしまして、冒頭の行事予定でも申し上げましたとおり、3月6日、13日の2週にわたり、弘道館開館180年を記念いたしまして、これまで偕楽園と弘道館とそれぞれで実施していた夜・梅・祭の会場を弘道館に集約するとともに、実施内容を拡充し、さらなるにぎわいの創出を図ってまいります。

続いて、主な変更点でございますが、観光客の利便性向上を図るため、偕楽園桜山第1・第2・第3、偕

楽園下、千波湖西の5か所の駐車場の有料時間を土、日、祝日のみ延長させていただきます。

また、観光客の利便性向上と中心市街地をメインに回遊性を高めるとともに、観光消費額の増加にもつなげていくため、バスの水戸漫遊1日フリーきっぷを特別価格で販売してまいります。

さらには、土産品の購入促進を図るため、旅行事業者さんと連携し、みと〇（まる）クーポンを7,000人分配布してまいります。

これら様々なイベント等を通して、飲食店、宿泊事業者、交通事業者など市内の観光関連事業者の皆様の収益につながるよう努めてまいります。

最後になりますが、感染予防対策等でございますけれども、今回の梅まつりにつきましては、新型コロナウイルス感染予防対策を講じた上での祭りの開催となるものでございまして、4ページまでに記載しておりますとおり、手指消毒液の設置、会場内でのマスク着用の徹底、偕楽園の各入園口、それから、弘道館料金所での検温の実施のほか、祭り期間内の各種行事につきましても、内容に応じたきめ細かな感染予防対策を講じまして、お客様や祭り関係者にとってより安心、安全な祭りの運営に努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

説明につきましては、以上でございます。

○**大津委員長** 内容について、何か御質問等がございましたら発言をお願いします。

渡辺委員。

○**渡辺委員** それでは、今回、コロナ禍の中での梅まつりということで、様々な制約や変更があるのかなと思いますけれども、ちょっと聞きたいのは、チームラボというのは、何かのチームなんですか。ラボという名前なの、チームの名前が。それをちょっと説明して。

○**大津委員長** 小林観光課長。

○**小林観光課長** ただいまの渡辺委員からの、梅まつり期間中に偕楽園で光の祭を実施する予定となっているチームラボに関する御質問でございますけれども、株式会社チームラボと申しまして、組織の名前となっております。

○**大津委員長** 渡辺委員。

○**渡辺委員** そうすると、このチームラボさんは株式会社ですから一般の企業ですよ。そこが自分たちのお金を出して、計画して、入場料を取ると、そういう考え方でいいんですか。

○**大津委員長** 小林課長。

○**小林観光課長** ただいまの渡辺委員からの御質問にお答えいたします。

チームラボが偕楽園で光の祭を実施するに当たりまして、茨城県のナイトイベントの観光誘客推進事業に事業提案をいたしまして、そこで茨城放送さんが主体となって実施する事業として認められたものでございまして、茨城県のほうから補助金を獲得してこの事業を実施するということができております。

○**大津委員長** 渡辺委員。

○**渡辺委員** そうすると、県のほうが一般公募をして、例えば、その内容等を審査して、チームラボさんが一番いいだろうということで決まって、そのチームラボさんにこの事業の内容に伴う予算を補助すると、そういうことなのですか。

○大津委員長 小林課長。

○小林観光課長 ただいまの渡辺委員からの意見のとおりでございます。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 偕楽園は、一応県が管理しているということがあるんで、そういう中で県と水戸市がいろいろ知恵を出し合って、創造性を持ってこの偕楽園のグレードを上げるために頑張っていたいただいているということだと思うんで、その辺の連携をさらに密にさせていただきたいと思います。

あと、見どころ、変更点の中で、土産品の購入促進を図るため、旅行者と連携しながら、みと〇（まる）クーポンを配布するというのは、これどういう内容なんですか。7,000人分ってありますけれども。

○大津委員長 小林課長。

○小林観光課長 ただいまの渡辺委員からの、みと〇（まる）クーポンに関する土産品購入促進事業の件についての質問でございますけれども、7月の臨時議会で補正予算をお認めいただいた緊急対策経費の一部でございまして、梅まつり期間に来客が予想されるお客様にクーポンをお配りして、そのチケットクーポンを使っただいて市内の土産品を購入していただくということで、お客様のほうにお配りをする予定で計画していたものでございます。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 そうすると、これはコロナ対策の予算を使っているということですね。GoToトラベルの一環なの。

○大津委員長 小林課長。

○小林観光課長 渡辺委員からの御質問にお答えいたします。

委員の御意見のとおり、GoToキャンペーンinMITOの取組の一環でございます。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 そうすると、このクーポンというのは金券なのかな。金券で7,000人分でしょう。これただであげちゃうわけ。1人当たり幾らあげるの。

○大津委員長 小林課長。

○小林観光課長 渡辺委員からの御質問にお答えいたします。

このクーポンにつきましては、委員の御意見のとおり金券でございまして、現在、考えておりますのが、バスツアーなどで水戸にお越しいただく予定の方に、事前に、例えば1日100名限定という形でお配りすることを考えております。

○渡辺委員 それで、1人当たり幾らなの。

○小林観光課長 失礼いたしました。3,000円分です。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 そうすると、これは水戸の市民ではなくて、わざわざ偕楽園においでいただいた方へのプレゼントということですね。分かりました。

それと、3月6日に、弘道館にて夜・梅・祭を集約してやるということで、弘道館開館180年記念の事業ということで取り組んでいるんですけれども、もう御存じだと思うんですけど、この180年というの

は仮開館からの年数なんだよね。本当の開館日というのは1857年かな。なので、それはちょうど鹿島神宮から弘道館鹿島神社へ遷座した日に開館日を合わせているんですよ。ですから、これ開館180年となつちゃうと、2つの通説が、いわゆる開館日が出ているんで、あれ、違うんじゃないと言われる可能性があるんで、観光に関係している方たちは、その仮開館と本開館の違いぐらいはしっかり把握しておいていただければなというふうに思います。

○大津委員長 ほかにございますか。

安藏委員。

○安藏委員 ちょっとお尋ねをいたします。

私も今朝弘道館の周りをずっと歩いて、角櫓とかいろいろ見てきたんですけども、まず1点目の質問は、この夜・梅・祭を弘道館に集約したと、今まで偕楽園でやったのを弘道館でやるということですよ。変わった理由をちょっと教えてください。

○大津委員長 小林課長。

○小林観光課長 ただいまの安藏委員からの御質問にお答えをいたします。

夜・梅・祭につきましては、恒例行事として非常に人気を博している事業でございまして、夜の偕楽園等の魅力を創出していくということで実施をさせていただいております。通年ですと、偕楽園と弘道館それぞれで夜・梅・祭を実施してまいりました。今回、チームラボが光の祭というものを偕楽園本園で実施いたします。そこで我々が検討した結果、弘道館にさらに光を当てて偕楽園と弘道館、対の施設として改めて皆様に知っていただくと、水戸のアイデンティティーを知っていただくということで、弘道館のほうに集約して相乗効果を高めていければと考えたところでございます。

○大津委員長 安藏委員。

○安藏委員 今朝、弘道館の正門の工事をやっていて、始まったところなんですかね。あれは、当然間に合うんでしょうけれども、まだ工事が始まったばかりらしくて、大丈夫なんですよ。

あと、もう1点、ついでに聞いちゃいます。立派な大手門があるが、大手門のライトアップって1年中やっているの。それもちょうと分からないんで、教えて。相乗効果というんだったらば、立派な大手門までライトアップしても当然いいのかなと思っているんですけども。

○大津委員長 小林課長。

○小林観光課長 弘道館のほうの工事につきましては、申し訳ございませんが、詳細までは把握し切れておりませんが、もちろん梅まつりには間に合うようにということで、情報をいただいております。

それから、大手門のライトアップにつきましては、通常、現在も壮観な姿のライトアップで市民の皆さんに楽しんでいただいているところでございまして、もちろん梅まつりの期間におきましても、夜・梅・祭の拡充と申し上げましたが、大手門を活用させていただいて、さらに魅力を知っていただくということで検討を進めております。

〔「ライトアップしてるよ」と呼ぶ者あり〕

○大津委員長 安藏委員。

○安藏委員 それで、先ほど、梅大使が来ましたね。資料の3ページの2番なんだけれども、梅大使の方は

偕楽園だけで、弘道館での予定は入っていないということなんですかね。

○大津委員長 小林課長。

○小林観光課長 ただいまの安藏委員からの梅大使のスケジュール等に関する御質問でございますけれども、弘道館で各種取組を実施しますことから、もちろん梅大使の皆様には弘道館のほうでもお客様をお迎えただいて、イベント等を実施してまいりたいと考えております。よろしく願いいたします。

○大津委員長 ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大津委員長 ないようですので、次に、その他に入ります。

委員より何かございましたら、発言を願います。

渡辺委員。

○渡辺委員 2点あるんですね。

今日は、年の初めということで、ちょっと控えるというところなんでしょうけれども。

まず1点は、御案内のように、今日から東京都並びに隣接する3県に緊急事態宣言の発令がなされたということで、東京都のほうでは昨日、2,447名の感染者が出て、もしかすると、これは大爆発の一步手前の段階に来ているんじゃないかと言う医療関係者もいたと聞いております。

そういう中で、水戸の場合、茨城県は千葉県と隣接していますし、また埼玉県とも近いという中で、県南、県西のほうは東京の都市圏内に入っているというところで、きっと県の担当の方並びに水戸市の担当の方も非常に緊張感を持って、取り組んでいらっしゃるというふうには拝察しています。まず、去年の状況等について、昨日のニュースの中で、全国で800とか700とかすごい数の飲食業が倒産したという報道がありました。帝国データバンクが調べた数なんで、氷山で言えばほんの上の三角の部分だけで、水面下にあるものについては、全然数字が分からないというコメントがついていました。

水戸市の場合、うちの委員会の担当で言いますと、飲食関係とか観光業とか、また、バス会社さんとか、そういうところの年末時点での現況はどのようになっているのか、その辺のところを把握しているのか、ちょっとお伺いをしたいと思います。

○大津委員長 長谷川参事兼商工課長。

○長谷川産業経済部参事兼商工課長 ただいまの渡辺委員の御質問でございますけれども、コロナの影響が長引いている状況の中で、飲食業に限らず、ホテル、旅館、様々な業態に経営状況の悪化、厳しい状況になっていると認識しております。ただいま御質問がありました帝国データバンクの調査によると、やはり700件ぐらいの倒産があるということでございました。現時点において、水戸市内でも廃業等、閉店しているという話は聞いておりますが、正式な数というところまでの把握には至ってございません。申し訳ございません。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 先ほど、GoToキャンペーンinMittoでコロナ対策の補助金を使っているという話がありました。恐らく水戸市のほうでもこの間、大工町の飲食業で感染者が多数出たということがあって、その日の夜、大工町に行った人が言っていました。人が全然歩いていなかったと。その報道があった日の次の

日の夜なんですけれども、そういうのを見ても、恐らく大きな影響が徐々にボディブローのように効いてくるのかなと、それでなくても去年までの間で、大分弱っているところに、またここでそういうことになったら、本当に廃業とか、また、そこで働いている方たちへのいわゆる補償等も滞る可能性があるということ踏まえて、商工課のほうではその辺のところの対応を、アンテナを高くしながら進めていただきたいというふうに要望をしておきます。

それと、もう一つ、去年の暮れに、ハーブ梅酒開発へという新聞記事を見ました。これは、水戸市はというんですから、水戸市が中心になっているんでしょうね。養命酒製造と吉久保酒造が共同で和のハーブ梅酒の商品開発を始めると、薬草文化の継承につなげたいということで新聞に載っていたんで、この件について二、三お聞かせいただきたいと思います。

梅酒というと、今まで水戸市の場合、長年にわたって明利さんが梅酒の開発をずっとしてきて、梅酒という明利さんの梅酒、別に吉久保さんでもいいんだけど、その辺のところについて、明利さんのほうとは話はあるんですか。

○**大津委員長** 後藤農産振興課長。

○**後藤農産振興課長** ただいまの渡辺委員の和のハーブ梅酒を造ることに關しまして、クラウドファンディングで実施している件についてでございますけれども、この事業は、水戸市と養命酒が平成28年に薬草を活用した官民協働事業に関する協定に基づきまして、これまで植物公園を中心に薬草園の整備や薬草に関するイベントを実施してきました。来園者に薬草を通して水戸の魅力向上を植物公園から発信してきたという事業がございまして、その協定締結5年目に当たる今年度、養命酒製造のほうから植物公園を訪れた方以外にも……

[発言する者あり]

○**後藤農産振興課長** それで、今回、新たな梅酒造りという話が持ち上がってから、双方にお声かけをさせていただきまして、協力いただけるのが吉久保酒造ということでございます。

○**大津委員長** 渡辺委員。

○**渡辺委員** そうすると、明利さんも理解、納得しているわけだね。

それを前提にちょっと聞きたかったんですよ。これ、水戸市はということは、水戸市が主体性を持っているの。それとも、今の話でいくと、養命酒さんが主体なのか。

○**大津委員長** 後藤課長。

○**後藤農産振興課長** 今回、梅酒造りの主体としては、養命酒製造と吉久保酒造でございます。

○**大津委員長** 渡辺委員。

○**渡辺委員** そうすると、これ文章が間違っているね。水戸市はとなっているから、水戸市が中心で動いていくと、水戸市が主体になっているのかなと勘違いをする方がいらっしゃるよね。

それに基づいてちょっと聞くと、養命酒さんは、薬草の提供となっていますよね。今後、これ開発していったら、製品ができたなら、養命酒さんがこれを販売するの、それとも吉久保さんが販売するのか。

○**大津委員長** 後藤課長。

○**後藤農産振興課長** 非常に人気が出て、商品化の声が出ましたらば、吉久保酒造さんから商品化になる予

定ですけれども、現時点では、具体的にそこまで詰めてはございません。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 そうすると、これクラウドファンディングでいくんだけれども、目標金額はどれぐらいなの。

○大津委員長 後藤課長。

○後藤農産振興課長 目標金額につきましては、200万円を設定してございます。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 新聞では、15日が締切りとなっていて、もう締切り近いんだけれども、今どれぐらい集まっているんですか。

○大津委員長 後藤課長。

○後藤農産振興課長 クラウドファンディングにより集まった金額につきましては、本日現在で112万1,500円でございます。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 クラウドファンディングというのは、みんなはやりでね、いろんなところでやっていますよ。M a k u a k e (マクアケ) というところがサイトになっているんです。そうすると、これ112万円のうちから20万円はそこに持っていかれちゃうんだよ。そうだよ。開発費というのはどれぐらいを見込んでいるの。

○大津委員長 後藤課長。

○後藤農産振興課長 ただいまの費用に関する御質問でございますけれども、製造費といたしまして約62万円、それから、クラウドファンディング等で支援をしていただく方に、その梅酒をお送りする送料といたしまして42万円等を見込んでございます。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 開発費に62万円かかって、お金くれた人たちには金額に応じて何かあげるわけでしょう。これ、まさしくふるさと納税と一緒になんだよね。私はあまり好きじゃないんだけれども、ふるさと納税というのは、要は、コップの中の嵐なんだよね。今、欲得の話ばかりが先行しちゃっていて、例えば、あそこでいいものをもらえるよという、そっちに偏ったり、全然自分のまちに対しての誇りとか愛情を持って税金のやり取りしているということじゃないんだよね、意外と。

そういう中で、一番俺が心配しているのは、果たして62万円で新しいものを開発できるのかなと。例えば、ボトルとかいろんなものを考えなくちゃいけないでしょう、入れ物だって。養命酒さんは金出さないんですよ。本来なら、養命酒さん自体が金出して、養命酒の名前で売ったほうが何ぼ売れるかしれないよ、一品さんの名前より。言っちゃ悪いけれども。健康と書いてあるようにハーブの梅酒だから、これ、そういう体にいいような梅酒で、その薬草を提供するのが養命酒さんなんだから。そういうのも踏まえて、今後、水戸市はとなっているんだから、少し助言をしていかないと、安易にクラウドファンディングで金集めるといのが目的じゃないんだから。いいものを造るといふんだったら、いいものを造るための組織、システムを考えるのも大切じゃないかと思えますよ。

今、何かとはやりなんで、すぐ人から金集めてと言うけれども、仲介しているところは、それで利益を上

げてやっているわけですから、頭から金取られちゃうんだから。それで、残ったものをくれるわけですから。そういうのもよく理解しながら、やる方に助言しながらいいものを造っていただきたいと思います。ただやればいいというんじゃなくて、メディアに取り上げられればいいというのが目的じゃないわけだから。本当に養命酒さんがそう思っているんなら、養命酒さんがもっと金出してやるべきだよ。俺はそう思うんだけど。その辺のところも一応助言として話しておきますんで、以上です。

○**大津委員長** ほかにございませんか。

安藏委員。

○**安藏委員** 1点、産業経済部長にちょっとだけお話聞きたいんですけども、以前、この委員会での議論をちょっと聞いていたんですけども、要は、このコロナ禍の中で、この間、議会のほうでも借楽園外周部の県の事業の話がありました。そういうことで、議会では説明を求めて、この前特別委員会で説明を聞きました。その後、執行部として、市として、あの県の事業に対してどういうふうな位置づけがされているのか、ちょっと部長にまず聞きたいと思います。

○**大津委員長** 鈴木産業経済部長。

○**鈴木産業経済部長** ただいまの安藏委員の御質問でございますが、パークPFIの件かと思いますが、県の方を呼んでの特別委員会が開催されて、いろいろな議論をされたというところで、私も出席をしておりましたので、その部分については、同じ認識をしているところでございます。その後の話といたしましては、都市計画部公園緑地課のほうが中心となって検討しているところでございまして、まだ、全庁的な整備を行っているという段階には至っておりません。申し訳ないんですけども、今の段階で、私のほうからその協議の状況について御報告することは特段ございませんので、御了解いただければというふうに思います。

○**大津委員長** 安藏委員。

○**安藏委員** 確かに公園緑地課のほうで全面的に話が進んでいるということは聞いているんですけども、このコロナ禍の中で、8月オープンの話ですよ。そのことに対して、市として情報がないということは、ちょっと私も考えられないし、アイ・ケイ・ケイ株式会社の事業で、県で約1ヘクタールの土地を20年間無償で提供して施設を造るという話ですが、このことに対して私も暮れから正月にかけて、いろんなお話を聞く機会があったんですけども、恐らく知っている人はあまりいないんですよ。そのまま造ったほうがいいという意識なのか、私も本当にこういうことがあり得る話なのかと思って、ちょっと今本当に心配しているんです。今、部長が言われたみたいに、市として何の対策もしていないという、このまま予定どおりにいったらば、もう8月オープンになっちゃう話ですよ。その辺ところ、今日1月の委員会なものですから、ちょっとだけ聞きたかったんですけども、このまま流れていって、市民の方もほとんど分からない。ただ、借楽園関係の自然保護とか、いろんな団体がある中でもその後も一切話がない。そういう中で、そのまま、あれ借楽園の下に迎賓館できちゃったよという話を水戸で黙って見ているのかと、私も本当に前から不思議に思っていたものですから、今日の部長の話では今のところ何もないという話なんですけれども、今後、その情報がありましたらば、ぜひ早い時期に委員会のほうへも報告していただきたいし、あと特別委員会もあるものですから、そのまま流れるんじゃなくて、やっぱり情報をいただきながら議論する必要

があると思いますので、要望をしたいと思いますけれども、それに対して部長、一言話があればお願いします。

○大津委員長 鈴木部長。

○鈴木産業経済部長 すみません。市内部でも当然、様々な協議が行われているかと思いますが、現時点では、私のほうからちょっとお答えするのが難しいということでの御了解をいただきたいと思いますが、当然、産業経済部にとりましても、観光という点にとりましても、商業振興という点にとりましても、非常に重要なポイントになるものだというふうに思っておりますので、我々にとって有意義なものになりますよう、これからもそこについては積極的に関わっていききたいというふうに思いますので、よろしく御指導のほうをお願いしたいと思います。

○大津委員長 安藏委員。

○安藏委員 分かりました。そういうことで、茨城県でやっているからどうこうじゃなくて、さっきも話が出たけれども、迎賓館云々の話だったらば、せっかく弘道館があつて、大手門ができて、塀ができて、角櫓ができたよ、立派な施設ができているんだから、旧県庁舎跡地、あそこの迎賓館だったら、私は大賛成ですよ。偕楽園の外周部の中で、あれだけ自然豊かな湿地のところへ建物を造るなんてことは、本当に考えられない話なものですから、新年に当たって、ちょっと一言だけ言わせてもらって、次回、またお願いしたいと思います。ありがとうございました。

○大津委員長 ほかにございませんか。

渡辺委員。

○渡辺委員 関連なんですけれども、この間、特別委員会が行われまして、私はその折にもちょっと意見を県の方にお話しさせていただいたんですけれども、要は、矢が放たれていると、矢が飛んでいるという中で、この間質問したのは、市民のいわゆる合意形成というものは図っているのかということを知いたら、一切やっていないというお答えでした、それも堂々と。それはそれでいいとしても、例えば、あそこに来るアクセスの話について、これ袴塚議員さんからもあったと思うんですよ。ですから、矢が放たれているという認識を持っているなら、今度は、例えば、その道路の関係とか、また市民生活とかの担当課と連携しながら、どんな形で市民の合意形成を図っていく方法があるのかとか、そういう検討を県のほうと担当がするようにしてほしい。産業経済部長の範疇じゃないと思うんですけれども、そういうものをこれから指示していただきたいと思います。

それだけでなく、サントル千波から来ると混んでるのに、またそういうものができてもっと混んで、何だ、迎賓館行くのに1時間かかったなんていう話になっちゃうよ。だから、そういうのも県のほうがきちっと、やはり足元も整備しながらやっていくというのがこれ本来の形なんで、本末転倒なのよね。そういうのを後にして施設だけ造っちゃうのは、どうしてもちょっと逆の考えなんで、その辺のところも各セクションのほうにしっかりと、この産業消防委員会のほうでそういう話があった、意見があったということをぜひ伝えて対処していただきたいと要望しておきます。

○大津委員長 ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○**大津委員長** それでは、以上をもちまして、本日の産業消防委員会を散会いたします。
御苦労さまでした。

午後 2時14分 散会